# 2　福島中通り（郡山市・白河市）広域交通持続化共同配車事業　｜郡山観光交通株式会社

**プロジェクト概要**

郡山・白河エリアにおいてタクシー事業者3社が連携し、共同配車システムを導入する。夜間帯（0時～7時）や特定曜日（受電の少ない日曜日など）の配車業務を遠隔で分担する体制を構築し、人材不足とコスト課題に対応する。電話配車を中心とした地域特性を維持しつつ、安定的な供給体制と効率的な運営基盤の確立を目指す。

**課題**

- 人材不足や人件費高騰により、小規模事業者単独では配車業務の維持が困難となっている。特に夜間は着信が少ないにも関わらず人員配置が必要で非効率である。電話配車が主流の地域において、繁忙時間帯の取りこぼしや災害時対応力の不足、高齢化による人員減少リスクが課題となっている。

**取組内容**

**【共同配車組織の立上げ】**

- 共同配車システムを導入し、複数事業者間で配車業務を一体運用
- 夜間（0時～7時）、特定曜日（受電が少ない日曜日など）の配車業務をシフト制で分担し、遠隔配車を実施
- 配車拠点の統合により人材の有効活用と受話率・配車率の向上を図る
- 電話配車を主軸としつつ、将来的なアプリ対応も視野に入れた運用を構築
- 従業員教育を実施し、遠隔配車オペレーションの標準化を推進
- 災害時にも対応可能な複数拠点での指令体制を整備
- 繁忙時・閑散時の需給に応じた柔軟な運用体制を構築する

**【共同配車体制の周知】**

- 共同配車体制の開始にあわせ、利用者向け広報を実施
- 駅・公共施設・主要交通拠点等への情報掲示を実施（郡山駅・新白河駅など）
- 地元メディアへのプレスリリース等やSNS広告等により認知向上を図る

**事業要件**

- システム統合による業務効率の向上（共同化）

**技術要件**

- タクシー共同配車業務運用ガイドライン

**効果**

- 共同配車システムにより夜間の非効率な人員配置を解消し、人件費削減と業務効率化を実現する。受話率・配車率が向上し、利用者の利便性と供給安定性が高まる。人材不足リスクや突発的な欠員にも柔軟に対応可能となり、地域交通を支える持続可能な運営体制の構築につながる。

**事業実施自治体・エリア**

福島県 郡山市・白河市・三春町

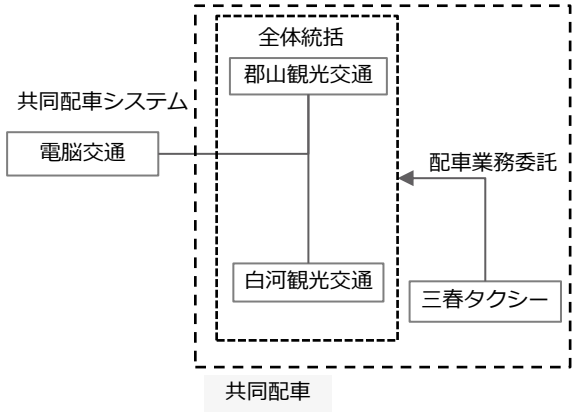
**交通事業者**

タクシー　：　郡山観光交通、白河観光交通・三春タクシー

**アプリ・システム等**

- ■ アプリ・システム：配車管理システム DS
- ■ データの取得方法：ー
- ■ データの活用方法：ー

**座組**




**スケジュール**

4～6月　要件定義

7～8月　配車システム導入期間

8～10月　配車室立上げ準備

11月～2月　配車室実装

2月　　効果測定

Copyright © 2026 by MLIT. All rights reserved.